

ごあいさつ



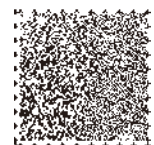
神奈川をとりまく社会環境は、少子高齢化・人口減少が進んだことに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際情勢の不安定化など、大きく変化しています。これまで、県では、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて取組を進めてきましたが、この理念を継承しつつ、2040年頃の神奈川を展望した「基本構想」と、2024(令和6)年度から2027(令和9)年度を計画期間とする「実施計画」で構成する新たな「総合計画」を策定することとしました。将来の展望や課題を明らかにして、長期的なビジョンを県民の皆様と共有し、共にこれからの神奈川づくりを進めていきたいと考えています。ぜひ皆様も新たな「総合計画」に対するご意見・ご提案をお寄せください。

神奈川県知事 小池 忠信

2023

神奈川をとりまく社会環境

2008年に日本が人口減少に転じて以降も、神奈川の総人口は一貫して増え続けてきましたが、2021年10月に統計開始以降初めて前年同月と比べて減少に転じ、神奈川も人口減少局面に入ったと考えられます。団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年頃に向けて、さらなる高齢化の進行が見込まれます。



2040年の神奈川に期待する「姿」は？

2040年の神奈川を考える
50の視点 詳しくはこちら



2040

2024-2027

誰もがチャレンジできる社会



年齢、性別、国籍、障がいなどにかかわらず、誰もが新しいことを始めたりチャレンジできる社会。

様々な人が共生する社会



多彩な人材が集まる神奈川ならではの支え合いによって、様々な人が共生する社会。 など

デジタル活用を支援



誰もが便利な生活がおくれるよう、デジタル活用を支援。

多世代交流の充実



子育ては、周りの助けがあってこそ。多世代交流の充実。 など

2040年の神奈川に向け、
今、行政に何を求める？
あなたは何ができる？

